

国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-3-4
チサン第6新大阪310
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869
発行人 高橋忠義
編集人 小野元裕
印刷所 (株)新聞印刷

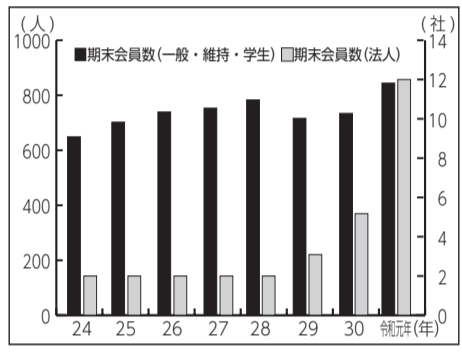
第81号

(春季号)
令和2年5月1日(金)
(皇紀2680年)
(大正紀元109年)
(昭和紀元95年)
(平成紀元32年)

第23回定期総会書面審議の結果 第1号~第3号議案 可決(反対者なし)

過去8年間の会員数の推移(参考)

年度	期末会員数(一般会員・維持会員・学生会員)	期末会員数(法人)
24	649	2
25	702	2
26	739	2
27	753	2
28	783	2
29	716	3
30	734	5
1	844	12



98歳で御逝去されました。また、長年「國の支え」の編集にご尽力いただいた編集副部長の大安秀雄氏も2月に急逝されました。私どもに力を注いでくださったお2人に対し衷心よりご冥福をお祈りいたします。

5月2日に予定してありましたが、緊急事態宣言の発令が遅れ、それも地域を限定するなど状況を見ながらの対応となってしまうまいし、専門家の意見を聞いての対応はもっともらしいのですが、対処の根拠を専門家に頼り過ぎていた点も気になります。この点では台湾では初動対策が速やかにかつ大きく

関西防衛を支える会 第23回定期総会 開催中止



関西防衛を支える会に創設当初から尽力いただいた相談役の元関西電力会長 小林庄一郎氏が本年2月に

国民が憲法の欠陥に気づくべき

関西防衛を支える会 会長 高橋忠義

98歳で御逝去されました。また、長年「國の支え」の編集にご尽力いただいた編集副部長の大安秀雄氏も2月に急逝されました。私どもに力を注いでくださったお2人に対し衷心よりご冥福をお祈りいたします。

5月2日に予定してありましたが、緊急事態宣言の発令が遅れ、それも地域を限定するなど状況を見ながらの対応となってしまうまいし、専門家の意見を聞いての対応はもっともらしいのですが、対処の根拠を専門家に頼り過ぎていた点も気になります。この点では台湾では初動対策が速やかにかつ大きく

当初、専用機での中国在留邦人の帰国や3月2日から学校の閉鎖要請など、速やかに実施されたのは良かったと思いますが、海外からの流入防止の水際作戦は後手になり失敗しました。その後、国内で蔓延し始めてからは、緊急事態宣言の発令が遅れ、それも地域を限定するなど状況を見ながらの対応となってしまうまいし、専門家の意見を聞いての対応はもっともらしいのですが、対処の根拠を専門家に頼り過ぎていた点も気になります。この点では台湾では初動対策が速やかにかつ大きく

令和2年度が始まりましたが、新型コロナウイルス感染拡大で世界中が厳しい状況にさらされており、早期に収まっていくことを願うばかりです。皆様におかれましては、感染防止のため、国民としての責務をそれぞれの立場で果たしていただけることを存じます。このような状況にあっても、自衛隊が新型コロナウイルス関連の災害派遣をはじめ、中東方面での任務、周辺地域の警戒監視、練度向上の訓練、教育など爾々と任務を遂行し我が国の平和と独立を守っていただいていることに心から敬意と感謝の意を表したいと存じます。また、自衛隊だけではなく、国民の命を守るため医療の現場で頑張っている関係者の皆さんにも感謝したいと思います。

このたびの役員人事で、大田欣孝副会長が勇退し、顧問に就任しました。大田氏に対し、これまでの関防会に対するご尽力とご功績に敬意と感謝の意を表します。これに伴い、原田光生氏が副会長就任をお願いしたところ、快諾をいただきました。新副会長就任にあたってのご挨拶は次号に掲載いたします。

新型コロナウイルス感染症防止に対する日本政府の対応は、後手後手で小出しに出されているように感じなりません。危機管理の原則は、「速やかに」大きく展開「徐々に緩和」です。

これらの国と我が国を比較すると根本的な違いが見えてきます。それは何か。憲法に「緊急事態」について書かれていないということ。今般のような緊急事態や戦争状態においては、国民の命を守るために私権を制限し、政府に強い権限を与えておかなければ、先に述べた思い切った初動対策をとる

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催が中止になる可能性があります。事務所にご確認下さい。

新役員紹介

特別顧問 谷川 とむ氏 (衆議院議員)

副会長 原田 光生氏

監事 古澤 清氏

編集副部長 安高 正裕氏

顧問 大道 欣孝氏

酒井 健氏 (元陸将)

竹本 三保氏 (元1等海佐)

理事 田中 宏幸氏

浅尾 守氏

新入隊員激励・研修旅行

今年4月に航空自衛隊に入隊した新入隊員を激励しましょう。

行先：航空自衛隊防府南基地

部隊側との調整の結果、中止とさせていただきます。

バーベキュー大会

日時：8月2日(日) 11時~15時

場所：鶴見緑地公園バーベキュー場

参加費：男性 3,000円

女性・高校生 2,000円

中学生以下無料

申込受付：7月2日~7月22日に氏名、電話番号、性別を関防会事務局へ

(自衛隊家族会京橋地区と共催)

第7回 関西防衛を支える会 超豪華 大納涼大会

日時：8月22日(土)

11時30分~17時 受付11時15分~

場所：パセラリゾーツなんば道頓堀

会費：6,000円(食事付き、飲み放題)

カラオケ大会、大抽選大会

山口采希ライブ、長瀬剛そっくりさん登場

詳細・申込はチラシをご覧ください

関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内

担当 菊池哲也、高村明美

第85回

日時 令和2年6月13日(土曜日) 午後4時から

講師 林 千勝氏(昭和史研究家・戦史研究家)

東京大学経済学部を卒業。富士銀行(現・みずほ銀行)を経て、現在、不動産投資開発会社役員。長年、近現代史の探求に取り組む。著書に、『日米戦争を策謀したのは誰だ! ロックフェラー、ルーズベルト、近衛文磨そしてフーバーは―』、『近衛文磨 野望と挫折』(ともにワック)、『日米開戦 陸軍の勝算―「秋丸機関」の最終報告書』(祥伝社新書)がある。

演題 日米戦争を策謀したのは誰だ!

～ロックフェラー、ルーズベルト、近衛文磨、そしてフーバーは～

会費 5,000円、非会員6,000円、学生2,000円(含む飲食代)

講話のみ:会員1,000円、非会員2,000円、学生無料

第86回

日時 令和2年8月8日(土曜日) 午後4時から

講師 高橋忠義(関西防衛を支える会会長、元阪神基地隊司令)

昭和31年西宮市生まれ。防衛大学校23期。回転翼操縦士として部隊勤務。地上配置は、海上幕僚監部(海幕)防衛部防衛課(平成7年防衛白書担当)、海幕人事課勤務、海幕指揮通信体系班長、自衛艦隊司令部後方主任幕僚、海幕教育課長等多岐分野にわたる配置を歴任。平成17年7月海将補昇任後は、航空集団幕僚長、第21航空群司令、舞鶴地方総監部幕僚長、第5航空群司令、阪神基地隊司令を歴任。平成25年8月退官後三菱重工工業防衛宇宙セグメント顧問。

演題 軍人からみた超おもしろ歴史講座

会費 5,000円、非会員6,000円、学生2,000円(含む飲食代)

講話のみ:会員1,000円、非会員2,000円、学生無料

台湾慰霊顕彰の旅

令和2年
1月18日～21日

〈1〉

英霊へ報恩謝徳 台湾での神仏合同祭事に御奉仕

妙見宗 河楠教会住職 小西正純

参加者38人



鳳山紅毛港保安堂にて（高雄市、1月20日）

本会から大東亜戦跡への慰霊の旅は5年ぶりである。ふりかえればサイパン、フィリピン、ミャンマー、ボルネオ、そして今回の台湾での報恩謝徳の神仏合同祭事である。また国内においてはエルトゥール号殉難の申本、日本海海戦の対馬(さか)に防衛本官等でも私は公式にて祭事を承ってきた。

この十数年来の合同祭事では、大阪護國神社宮司の故柳澤先生の神事に従い、事をつとめ、柳澤宮司には宗教者たる者の心構えを叩き込んでいただいた。



南天山濟化宮 高橋忠義会長祭文奉読（苗栗、1月19日）

◆1月19日、台湾の靖国神社と崇敬される新竹県の南天山濟化宮での表白

「本日ここに関西防衛を支える会長高橋忠義団長を祭主に頂き、社稷の神社を祭主に齊主に奉戴して我等一同、大台湾国南天山濟化宮に奉祀せらるる英霊が大広間に参進し、謹んで報恩謝徳の至誠を捧げ、豊葦原の西海に位置し給う蓬萊島嶼と共に、ふたつながら弥栄え行かんことを祈

る。 畏み惟れば、英霊が干戈交えし大東亜聖戦の終結し早や七十五の春秋を経て、わが大日本国の萬邦無比たる國體の不易なるは、これ英霊が不惜身命の武徳と勲功が故なりと、忘却するまじく一同をして、億兆の草莽に先んじ報恩の意を新にす。

以上のように古来日本の國柄は、自國の豊かさを独占することなく、他國へも分かちて共に栄えようとするところにある。これを萬邦無比なる國體という。歴史上の外寇も大東亜戦争

も結局他に例をみない國家の自衛だったと、表白の中で表しているのである。

◆1月20日、帝國海軍の哨戒艇乗組員百四十五柱を奉祀する高雄市鳳山区の保安堂での表白

「本日ここに関西防衛を支える会長高橋忠義団長を祭主に頂き、社稷の神社を祭主に齊主に奉戴して我等一同、大日本帝國海軍高田又男大尉を海府大元帥と崇め、145柱の軍神を祀る保安堂にお参りさせていただきます。今日では皆様は海洋を守る神となられ、365日24時間航海の安全と大漁をお守りいただいていることに日台両國民だけなくアジア諸國民が尊敬をもって感謝いたします。

◆1月21日、帝國海軍航空隊杉浦茂峰曹長(少尉)を奉祀する台南市安南區の鎮安堂での表白

「本日ここに関西防衛を支える会長高橋忠義団長を祭主に頂戴して、社稷の神祇官泉州磐船社佐藤暢彦大宮司を齊主に奉じ、我が大日本帝國軍、殊には海軍を尊崇して已まざる當り、散華せられし皇師皇軍が軍艦にして、我等臣民の末裔の矜持もまたかくの如くならんと欲し、後世にその至誠を伝えん。

錦地市井の人士を衛護せんとして軍人勅諭を威武と奉じ、散華せられし皇師皇軍が軍艦にして、我等臣民の末裔の矜持もまたかくの如くならんと欲し、後世にその至誠を伝えん。

78年前に米機の大空襲から台湾の村の人びとを守らんとして散華された武勇は、軍人の鏡であり、私たちがその心を忘れず、大和魂の美徳のお手本として、後世にその勲功を語り伝えよう。

3日目の保安堂では、蓮の花片を奉呈させていただきました。花片は2枚1組として

(次頁に続く)

大和言葉による荘嚴な祝詞の奏上に始まり、次に高橋会長の祭文では英霊の勲功を称えつつ、その歴史的意义を回顧され、さらに神と仰ぎ奉る英霊諸侯へ切々たる追慕と敬愛を捧げられた。

宮司の祝詞や会長の祭文は、柔和で明瞭なる言葉により綴られていたので、期せず涙を誘われた方もおられたと拝察する。しかし私が奉読した表白は、そもそもが漢文調の文章で皆様にはなじみのない言葉なので、ここで再録させていただきます。

◆1月19日、台湾の靖国神社と崇敬される新竹県の南天山濟化宮での表白

「本日ここに関西防衛を支える会長高橋忠義団長を祭主に頂き、社稷の神社を祭主に齊主に奉戴して我等一同、大台湾国南天山濟化宮に奉祀せらるる英霊が大広間に参進し、謹んで報恩謝徳の至誠を捧げ、豊葦原の西海に位置し給う蓬萊島嶼と共に、ふたつながら弥栄え行かんことを祈

る。 畏み惟れば、英霊が干戈交えし大東亜聖戦の終結し早や七十五の春秋を経て、わが大日本国の萬邦無比たる國體の不易なるは、これ英霊が不惜身命の武徳と勲功が故なりと、忘却するまじく一同をして、億兆の草莽に先んじ報恩の意を新にす。

以上のように古来日本の國柄は、自國の豊かさを独占することなく、他國へも分かちて共に栄えようとするところにある。これを萬邦無比なる國體という。歴史上の外寇も大東亜戦争

も結局他に例をみない國家の自衛だったと、表白の中で表しているのである。

◆1月20日、帝國海軍の哨戒艇乗組員百四十五柱を奉祀する高雄市鳳山区の保安堂での表白

(次頁に続く)

錦地の大広前に、扶桑大日本國社稷の内典たる大乗妙典を誦誦し奉りては、昭和帝御製の諱詠を以てて英霊が神慮に添い奉らん。西ひがし、むつみかはし、榮ゆかむ、世をこそ祈れとしのほしめに

皇紀二千六百八十庚子年一月十九日

「本日ここに関西防衛を支える会長高橋忠義団長を祭主に頂き、社稷の神社を祭主に齊主に奉戴して我等一同、大日本帝國海軍高田又男大尉を海府大元帥と崇め、145柱の軍神を祀る保安堂にお参りさせていただきます。今日では皆様は海洋を守る神となられ、365日24時間航海の安全と大漁をお守りいただいていることに日台両國民だけなくアジア諸國民が尊敬をもって感謝いたします。

◆1月21日、帝國海軍航空隊杉浦茂峰曹長(少尉)を奉祀する台南市安南區の鎮安堂での表白

「本日ここに関西防衛を支える会長高橋忠義団長を祭主に頂戴して、社稷の神祇官泉州磐船社佐藤暢彦大宮司を齊主に奉じ、我が大日本帝國軍、殊には海軍を尊崇して已まざる當り、散華せられし皇師皇軍が軍艦にして、我等臣民の末裔の矜持もまたかくの如くならんと欲し、後世にその至誠を伝えん。

錦地市井の人士を衛護せんとして軍人勅諭を威武と奉じ、散華せられし皇師皇軍が軍艦にして、我等臣民の末裔の矜持もまたかくの如くならんと欲し、後世にその至誠を伝えん。

78年前に米機の大空襲から台湾の村の人びとを守らんとして散華された武勇は、軍人の鏡であり、私たちがその心を忘れず、大和魂の美徳のお手本として、後世にその勲功を語り伝えよう。

3日目の保安堂では、蓮の花片を奉呈させていただきました。花片は2枚1組として

(次頁に続く)



鳳山紅毛港保安堂における地元保存会との懇親会（高雄市、1月20日）



台南市議会で大歓迎を受ける。お別れは職員とハイタッチで(1月21日)



飛虎將軍廟での筆者による表白奉読(台南市、1月21日)

(前頁から続き)
て、各々に次の二首が書か
れている。
その一首は、「余のため
に身をば惜しまぬ心ともあ
らざる神はてらじみるら
む」。
(前頁から続き)
に攻められた折、敵国降伏
を御祈願して詠まれた一首
である。
皆様がこれを奉呈するこ
とにより、英霊は御歌の言
霊を受け取られ、あらざる
神として現れると思われ
る。

もう一首は、「末はまた
ようざらめやはあつさゆみ
つるといしばし引はなる
とむ」。
京都清水寺住職で幕末勤
皇の僧、信海上人の一首で
ある。
同じくこれを奉呈された
英霊には、七年報国(七た
び生まれ変わって国の役に
立つ)の精神をいずれの日
にか現して下さるだろう。
4日目の鎮安堂では、会
長はじめ皆様に焼香してい
ただいた。香はベトナム産
の極上沈香で、昔より純金
と等価で取引されていた。
現在ではもう産出しないの
で、皆様に焼香していただ
くには最適の献香となっ
た。

加えて会長がこれらの英
霊に奉納されたのは、次の
ような由緒ある逸品であ
る。
鎮安堂へは、伊勢内宮前
の岩戸屋謹製の生麦糖で昭
和天皇への献上銘菓。
保安堂へは、御召艦(天
皇が乗艦される軍艦)に搭
載されていた京都とらや謹
製の御料羊羹。
鎮安堂へは、清水寺の森
清範貫主の直筆による「敷
島」と命銘された桜花爛漫
の絵柄の抹茶碗で、茶碗の
箱書の裏面には表白におい
て謹詠した「敷島の…」が
墨も鮮やかに書かれてい
る。

た再び英霊に感謝して止ま
に連れて行っていただいた
知賢特攻平和会館で拝読し
た特攻隊員辞世の句、「野
畦の草召し出されて櫻哉」
(疾風隊 原田菜大尉)に
相通じ、私の一世二代の名
に海外における神仏合同祭
事の大舞台に御奉仕できた
ことには、かつて本会で研修
大謝九伏

かくして海外での祭事な
ので、あれもこれももっと
して差し上げたいと思われ
た方もおられよう。しかし、
皆様が国を思い英霊を敬い
ながら、拜礼と供物奉呈の
形で気持ちを捧げてくださ
ったことに対し深く感謝を
申し上げる。このように感
謝ができるこの幸せを、ま

祭文(南天山済化宮での祭文)
大東亜戦争後、わが国は一度も戦火にまみれることな
く、平和に経済発展を続け、世界で有数の豊かな国にな
りました。一方、台湾は日本の統治から離れ、中華民
国として独立を果たし、日本と同様に東アジアの経済
発展の一翼を担う国家として発展してきました。今日
の両国の発展の礎となった幾万の戦没者の英霊に感謝
し、永久に慰霊・顕彰していかねばなりません。そ
して、多くの台湾人が日本のために戦ったことを私たち
日本人は忘れてはなりません。ここ、済化宮に祀られた
二万七千五百余の英霊に対し、謹んで哀悼の誠を捧げる
ものであります。
李登輝総統が、日本統治時代を「日本が残したものは
大きい。統治時代を批判する一方で科学的な観点から評
価しないと歴史を理解することはできない」と述べられ
ているように今日の台湾の発展には、日本の統治時代に
整備された教育制度、道路、鉄道などのインフラをはじめ、
農工業の基盤が背景にありました。台湾の人々は、
そのことを冷静に評価し日本に感謝の気持ちを持ってい
るのです。平成二十三年三月に発生した東日本大震災の
被災者に対し台湾から二五〇億円を超える義援金が送ら
れたことを私たちは忘れてはなりません。台湾国民は、
私たちが台湾を想うよりも強く、日本のことを想って
くれているのです。
李登輝総統により台湾は民主化を果たし、わが国と
同じ価値観を持つ国家として発展してきました。昭和
四十七年、日中国交正常化によって、台湾と日本の国交
は途絶えてしまいましたが、本来、親しくお互いに肩を
組んで助け合っていかなければならない同胞は台湾であ
ることは間違いなく確信しております。その意味から
も中国の一国二制度に危機感を持ち、台湾国民が蔡英文
氏を台湾総統に再選したことは、台湾が民主国家として
発展していくために最善の結果であると思えます。
私たちは、日本と台湾が歩んできた歴史をよく認識し、
将来にわたってお互いを尊重しながら共に繁栄していく
ことを英霊にお誓い申し上げます。
令和二年一月十九日
関西防衛を支える会 会長 高橋忠義

他(他)方所での祭文は次号に掲載

歴史勉強会 中島サロン ホテル KKR 大阪

第 83 回 2月8日



東京裁判とは復讐の裁判でしたが、私がお
伝えたいのは、「今勝たない。70年前の敗
北を取り戻したい」ということです。
マッカーサーは日本に来るや否や、東條首
相監禁の指示を出しました。なぜなら、「日
本における天皇を神聖視するという概念は、
軍部によって軍事大国への目的のために作り
上げられた神話である」と考え
ていたからです。しかし、9月
に直接天皇と会い、日本人を見
ることでその勘違いに気づきま
した。
日本人には「深い」という民族的特質があ
ります。戦場では非常に勇敢です。契約がな
くとも、約束を破ることは最低であると考え
ます。しかし、中国人は戦場で負けた後に戦
うのです。日清事変で彼らはどこまでも逃げ
ました。敵の兵站が切れるまで逃げました。
また、戦後の交渉で全く違う主張をし始めて
戦後に勝つのです。日本人は負けた後にいつ
こも戦いませんので、国際政治における情報
戦や心理戦にとても弱いのです。私達は東京
裁判からこの事を学ばなければならぬので
す。マッカーサーは戦後処理にきたたけはな
く、戦争を仕掛けにきたたけです。殺し合いが
終わった後、情報戦争をしかけたのです。今
も日本人にはその感覚が分かりません。
敗戦後を牽引するリーダーがいなかった
ため、我が国は本丸を取られてしまったので
す。終戦時のリーダーは老人の鈴木貫太郎
宮様の東久邇宮稔彦、幣原喜重郎です。そし
て、外交官の吉田茂が出てきますが、外交の
プロには政治はできません。
裁判の経過を辿っていきます。日本側の法

律関係者が、「国家の責任をどうやって国民
1人1人の責任にするんだ」と声を上げまし
た。そこでアメリカは、軍部と国民の離間を
図ったのです。いかに大東亜戦争が不正で
あったかという話をしていくわけです。残念
だった点は、戦前の軍部の戦争指導があまり
にも独断的で秘密主義だったことです。そ
のため、「実はこうだったんだよ」と米軍か
ら言われると、多くのことを知らされてい
なかったことに愕然としたのです。
清瀬弁護士は「裁判自体が認められないか
ら、弁護士を降りよう」と言いました。しか
し、他の優等生弁護士達と足並みが揃いませ
ませんでした。アメリカの主任検事であったキ
ーナンが裁判官達に「時間の無駄はやめろ。こ
の裁判はマッカーサーが指示をしている。言
うことを聞け!」と怒鳴ります。戻って来た
裁判官は「我々はマッカーサーに任命されて
いるので適任である」と裁判で公に言いま
した。そんな裁判がありますか? 1時間以上
清瀬が「これは裁判として正当性はない」と
糾弾し続けましたが、英語ではなかったため、
英語圏でこの情報が出ませんでした。
我々が負けたのは、昭和16年から日米戦
争だけです。しかし、この裁判では昭和3年
の満州事変から20年9月2日までを対象とさ
れたのです。
日本の弁護士達は重要な方針を立てます。
嶋田繁太郎元海軍大臣が中心となって被告28
人全員が弁護団に要求しました。①日本の立
場を明らかにし、国家的見地に立って侵略の
汚名を払拭し、後世の誤解をなくすこと。②
皇室には絶対に類を及ぼさないこと。③日本
人はドイツのごとき侵略政策はなかったこと

東京裁判

小川榮太郎氏

昭和天皇を守ったのは、
マッカーサーとキーナン裁判
長でした。当時天皇を処刑し
るという声も多くありまし
た。キーナンは東條が開戦し
たことを指摘します。東條は「私の内閣にお
いて戦争を決定しました。キーナンは戦争
が裕仁天皇の意志であったかと訊ねます。東
條は「私の進言に悉々同意になったのが事
実でしょう。平和と愛の精神で最後まで希
望を持っておられました。開戦当日の文書に
も「誠に止むを得ざるものあり。朕の意志に
あらず」とあります」と答えました。この答
弁で天皇詔迫の可能性を潰しました。最後に
キーナンが「日本の首相として戦争を始めた
ことに対し、道徳的、法律的に間違っていた
と思いませんか?」と東條に訊ねます。東條は
間違っていないかと答えています。東條は
優れた戦時指導者だったとは思えませんが、
東京裁判における東條は英雄だったと言え
るでしょう。

「日本の被告には、より凶悪なナチスドイ
ツの被告よりも重庄を課すべきではない。死
刑は全面反対」というキーナンの意見があり
ました。オーストラリア、ソ連、フランスの
裁判官も死刑反対だったという点を史実とし
て知っておきたいものです。

歴史勉強会

中島サロン

第84回 4月4日

錦城閣



日本海軍は...で始まったか... 宮崎県日向市の立誓神社です。神武天皇が東征する時の出発地点でもあります。境内に「日本海軍発祥の地」と書かれた巨大な碑があります。この碑は皇紀2600年(昭和15年)に建てられました。この頃の日本人は、皇軍の拠り所を神武天皇に求めたのです。

平安時代に遣唐使がありました。唐に遣いを送り、唐の進んだ文化や学問を採り入れました。当時日本の宗教界のトップであった比叡山延暦寺の僧であった円仁が遣唐使として唐に行きました。円仁は世界で初めて本格的な旅行記「入唐求法巡礼行記」を記しました。そこに遣唐使がどれだけ過酷であったかということが書かれています。遣唐使の約半分は難破しましたので、僧達は一所懸命に祈りました。円仁は住吉の神様を船に祀って祈りを捧げています。当時の僧は神社にも祈ったのです。

神々を祀り、神々に護られてきた日本の国防

久野潤氏

度生まれに國に報いる、「一死心堅(一死心堅)」、二期成効(再び成功を期し)、含笑上船(笑みを含みて船に上る)とあります。楠木正成は足利尊氏の軍と戦った後、弟と刺し違えて亡くなります。その時、弟の楠木正季が遺したのが、七生報國という言葉です。

日清戦争の時代、清の海軍力は日本のそれを凌駕していました。清の「定遠」と「鎮遠」は、30・5センチ砲を4本も搭載していた世界最強の戦艦でした。清はこれらの戦艦をドイツに造らせています。当時の日本にはそれだけの戦艦を造る技術を持っていませんでした。日本はこれらに抗するため、32センチ砲を一门だけ搭載した巡洋艦「松島」、「厳島」の建造をフランスに発注し、「橋立」を日本で建造しました。有名な黄海海戦で、これら3隻の船は32センチ砲と速射砲を生かして、清に勝利しました。「橋立」のキャプスタン(錨鎖を巻き上げる装置)は尼崎市の素戔嗚神社に残されています。日本の造船技術が未熟だった時代に必死で建造した「橋立」の歴史を今に伝えてくれます。また、清の戦艦「鎮遠」の砲弾は奈良の水室神社に残されています。日清戦争の時代、我が国の軍人達の清に対する恐怖を忘れ

た。マニラにも慰霊碑が建立されています。このような悲劇を繰り返さないため、愛知県岡崎市に矢作神社の分霊を巡洋艦「矢矧」に祀りました。この後伝染病が流行したときも、「矢矧」には一人の罹患者も発生しませんでした。これ以降ほぼ全ての軍艦に艦内神社が祀られるようになりまし

た。マニラにも慰霊碑が建立されています。このような悲劇を繰り返さないため、愛知県岡崎市に矢作神社の分霊を巡洋艦「矢矧」に祀りました。この後伝染病が流行したときも、「矢矧」には一人の罹患者も発生しませんでした。これ以降ほぼ全ての軍艦に艦内神社が祀られるようになりまし

関防会 激励品を贈呈



中部方面隊隷下部隊に対する激励品奇贈

新型コロナウイルス対策支援のため、自衛隊に災害派遣要請が派出された。陸上自衛隊中部方面隊隷下部隊が動員されました。それに伴い、関防会として激励品を贈呈しました。(事務局次長 小山みどり)

この間、日本は技術力を保つため、戦艦を入れ替わり立ち替わりドックに入れて改装を行っていました。「榛名」の2回目の改装の際に後部マストを取り外しました。これが尼崎市の難波八幡神社に残されています。

大東亜戦争時、大本営は実際の被害よりも少ない報告を天皇陛下や国民に伝えていました。従って、常に神に祈りを捧げる天皇は神様に嘘の報告をすることになってしまいました。これは大変残念なことであります。このような神様との約束を守らないようなことを今後二度と繰り返してはならないと思います。

編集 後記

歴史勉強会(中島サロン)担当の研修部長、高村明美です。講演者は、日本国史学会事務局長、大阪観光大学講師の久野潤先生で、「神々を祀り、神々に護られてきた日本の国防」というテーマの御講演でした。歴史を紐解きながら、常に正直な姿勢で神を祀っていた時代に神に護られてきた日本の歴史があったこと。また、装った姿勢で神を祀った結果なのか、日本が過去に経験した事実と背景を、とても分かりやすく講演していただきました。日頃、幸せに暮らすことが当たり前である恵まれたこの時代に、もっと物、自然、人を敬う心や、生かしていただいている一人一人としての在り方などを考える良い機会をいただきました。関西防衛を支える会に参加させていただき、積み重ねる学びや経験にとっても感謝しております。(研修副部長 高村明美)

事務所移転のお知らせ
関西防衛を支える会は以下の住所に移転しました。
〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-3-4 チサン第6新大阪310

陸・海・空 自衛官募集
自衛官候補生・一般曹候補生の採用年齢の上限が33歳未満まで引き上げられました

ご入会のお願い
関西防衛を支える会では会員募集中です。ご入会ご希望の方は事務所までご連絡下さい。入会申し込み用紙をお送りいたします。ホームページからの申し込みも可能です。
年会費(会計年度: 4/1~3/31)
一般会員 10,000円
維持会員 10,000円
法人会員 20,000円
学生会員 1,000円
※一口以上何口でも受け付けます
電話: 06-4256-4868
メールアドレス: info01@kanboukai.jp
HPアドレス: http://kanboukai.jp/
学生会員大歓迎 (高校生以上32歳まで)